



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>

日本共産党八千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp



第666号
2025年3月3日

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

「いじめ」を乗り越えて育つ学校づくり

不登校やいじめが大きな問題になっています。子どもはトラブルを乗り越えながら成長していくものです。様々なトラブルなどを体験し、又は見ながら人を傷つけることがどんなにひどいことなのか認識して育ちます。そして人格の完成を目指します。

ところが今の日本の現状はいじめ・不登校も減らず、小中高生の自殺者数も全国で年間527人(2024年度)にもなり、極めて深刻な事態となっています。この背景には、学校の仕組みの中に子どもたちが育ちにくい構造が作られてしまっているからではないでしょうか。それを明らかにするために日本共産党は、3月議会で質問をしました。

いじめ増加の原因は認知件数って本当ですか

全国のいじめの認知件数は2024年小学校中学校併せて711,633件です。過去最高と言われています。解消している事例もありますが、2012年から急上昇しています。八千代市の場合も増加の一途です。

八千代市内小中学校の不登校・いじめの件数

| | 2017年 平成29 | 2018年 平成30 | 2019年 令和元年 | 2020年 令和2 | 2021年 令和3 | 2022年 令和4 |
|-----|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|--------------|
| 不登校 | 203 | 271 | 304 | 323 | 390 | 440 |
| いじめ | 430 | 595 | 1087 | 1123 | 1566 | 1580 |

議会質問で、「いじめが増え続けている原因は何か」を問いました。教育長は「増加の背景として、いじめの積極的な認知に対する理解が広がったこと、アンケートや教育相談の充実などによる細やかな見取りを学校が行っていること」とのことでした。

認知が原因でないことは明らかです。いじめを認知出来たら解消のための取り組みができます。そしてその原因が解消されるからです。

子どもたちの対話・討論の民主的な解決力がカギ

いじめは人権の侵害ですから、「どのようにトラブルを解決しているのか、人権を学ぶチャンスがあるのか」を質問しました。教育長は「各学校で年間を通して人権教育を計画的に行っている」と答弁しました。

しかし、子どものトラブルは日常的に起きることです。その時こそ解決のためのチャンスです。いじめられていてもそれを言えない子どもたちがいます。日ごろから学級の中で話題にできる雰囲気・環境をつくることが重要です。今こそ対話的・平和的・民主的な学校づくりが求められています。

(定義) 第二条 この法律において「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

※文部科学省:いじめ防止対策推進法(平成二十五年法律第七十一号)より
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo1/gijiroku/attach/1337765.htm

